

イノシシの対策



和名	イノシシ
分布	本州、四国、九州
生息環境	山地や里山、隣接する農地
体長	成獣110cm～160cm程度
体重	50kg～150kg程度

日本に生息するブタの仲間で、大型の哺乳類です。

地域によって差はありますが、雄の成獣で体重は50kg～150kg程度、雌は雄よりやや小さい傾向にあります。雑食性であらゆるものを食べますが、特に、植物の根やミミズ、タニシ、カエルなどを鼻で掘り返して食べるのが特徴です。

毎年繁殖を行い、1回の出産で2～7頭(平均4.5頭)の子どもを産み、血縁関係のある個体で小規模な群れを作って生活します。非常に臆病な動物で人気の少ない夜に活動することが多いですが、学習能力は高く、安全だとわかると昼間も活動するようになります。また、運動能力も高く、鼻を使って70kgの物を動かすことができます。1m以上の跳躍力を持っていますが、障害物に対しては、ジャンプするより下を潜ろうとします。

近年、本市での目撃や農作物被害が増えており、これまで出沒が無かった地域でも被害が発生する可能性があります。



イノシシに掘り起こされた畑



イノシシの足跡

イノシシが近寄りにくい環境をつくる

- 農地や集落周辺の食べ物(イノシシの餌となるもの)の管理をしましょう。収穫残渣や生ごみは野外に放置しないようにしましょう。
- 収穫されなくなったカキやクリなどの果実が落下すると、イノシシの餌となります。早めに収穫するか伐採しましょう。
- イノシシは臆病な動物です。森や藪などの身を隠せる場所を隠れ家や、移動経路にします。耕作放棄地や林縁の藪を刈り払い、イノシシが隠れることができる場所をなくしていきましょう。

イノシシの侵入を防ぐ

- 農作物への被害を防ぐためには、農地に侵入されないことが重要です。電気柵やワイヤーメッシュを設置することで、高い防除効果が期待されます。
- 冬季に降雪がある喜多方市の場合は、軽量で、設置と撤去が容易な電気柵が適しています。
- 周辺の雑草の管理や、電圧のチェックを行い、漏電や電圧低下に注意しましょう。
- 起伏のある農地では、地面とワイヤーの間に隙間ができて、イノシシが潜ってしまうことがあります。支柱を追加するなどして、隙間を無くしましょう。

痕跡や被害を確認したら

- 被害や足跡などの痕跡を確認したら、市民生活課有害鳥獣対策室もしくは各総合支所住民課市民サービス班まで連絡してください。
- イノシシは周辺環境の変化を嫌います。痕跡や被害を確認したら、早めに周辺の刈り払いを行うことで、イノシシの定着を防ぐことができます。

お問い合わせ先	電話番号
喜多方市市民生活課有害鳥獣対策室	0241-24-5261
熱塩加納総合支所住民課市民サービス班	0241-36-2113
塩川総合支所住民課市民サービス班	0241-27-2123
山都総合支所住民課市民サービス班	0241-38-3825
高郷総合支所住民課市民サービス班	0241-44-2113